

## ドクターヘリの安定的かつ持続的な発展のための決議

平成十三年の本格的運航開始以来、我が国のドクターヘリは多くの国民の生命を守り極めて重要な役割を果たしてきた。令和五年六月時点では、国内五十六機が導入されるなど実質的な全国配備が完了し、あまねく必要な救命医療を提供出来る体制が実現した。

他方、ドクターヘリの出動件数の増加に伴い運航経費が増大していることに加え、昨今の円安、インフレの影響も相俟って燃料・機体部品価格や人件費が急激な高騰を続けており、経費への更なる圧迫が生じている。また、運航開始から既に二十年超が経過し、機体の老朽化に伴い更新の必要性が逼迫している機体があるにも関わらず、現在の補助金の算定基準には更新費用が十分に反映されていない。

ドクターヘリの運航は民間企業によって支えられており、現状の事業環境と補助金の算定基準の下では事業からの撤退を検討する企業もみられるなど、ドクターヘリの持続的かつ安定的な運航は非常に厳しい状況にある。

そこで、ドクターヘリの安定的かつ持続的な発展を通じて将来にわたり国民の生命を守り抜くため、以下の取り組みを求めることを決議する。

- 一 ドクターヘリの機体の老朽化に係る実態を的確に把握し、機体の計画的な更新が可能となるよう必要かつ十分な費用を補助基準に計上すること
- 二 燃料・機体部品価格や人件費が急激に高騰している現状を踏まえ、既存の補助基準額を早急に是正すること
- 三 ドクターヘリの出動件数・運航時間や必要経費を的確に把握し、適正かつ効率的な運航に見合うよう継続的に補助基準額を見直すこと

令和五年六月十二日

ドクターヘリ推進議員連盟